

「Ⅲ 学修成果・教育成果の把握・可視化」
関係

「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標の
達成状況を明らかにするための
学修成果・教育成果に関する情報について

資料 2-3

(資料 2-1 別紙 2)
中央教育審議会大学分科会
教学マネジメント特別委員会
(第 12 回) R1.12.17

- ・以下の表に掲げる情報は、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標の達成状況を明らかにするためのエビデンスとして使用可能な、学修成果・教育成果に関する情報である。
- ・これらの情報について、「卒業認定・学位授与の方針」の各項目にひも付けて整理し、分かりやすい形でまとめなおすことが考えられる(別紙 1 参照)。
- ・これらの情報や学生の学修履歴・活動履歴を体系的に蓄積・収集し、大学のみならず一人一人の学生が様々な形で自らが身に付けた資質・能力のエビデンスとして活用できるようにするためには、学修ポートフォリオの利用等が効果的に機能するものと考えられる。また、学修ポートフォリオに蓄積された学修成果・教育成果に関する情報をエビデンスとして用いて、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の修得状況を評価することも考えられる。
- ・なお、これらの情報は、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標の達成状況を明らかにするための学修成果・教育成果に関する情報として考えられるものをあくまで例として示したものである。また、学位プログラムの内容やその学修目標により、これらの情報(特に(2)に分類されたもの)の収集の必要性・重要性は異なるものと考えられる。
- ・本表を参考としつつ、各大学の自主的・自律的な判断とその責任の下で、学位プログラムの内容やその学修目標に応じた学修成果・教育成果の把握・可視化や、そのために必要な情報の策定・開発が進められることが期待される。

(1) 大学の教育活動に伴う基本的な情報であって全ての大学において学内で収集可能と考えられるものの例

| 情報 | ①把握・可視化の意義 | ②把握・可視化することが考えられる内容 | ③把握・可視化の方法 |
|---|--|--|---|
| 各授業科目における到達目標の達成状況 (※「卒業認定・学位授与の方針」に定められた特定の資質・能力の修得状況を直接的に評価することができる授業科目を含む。) | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が、「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえて設定された個々の授業科目の到達目標をどの程度の水準で達成できているかを明らかにする ・学生が、個々の授業科目の履修の結果として「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を獲得してゆく過程を明らかにする ・「卒業認定・学位授与の方針」に定められた特定の資質・能力の修得状況を直接的に評価することができる科目においては、学生が当該資質・能力をどの程度の水準で備えているかを明らかにすることができる | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が単位を修得した授業科目に関する以下の情報 <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目名、到達目標、到達目標と「卒業認定・学位授与の方針」との対応関係、成績評価基準、成績評価手法及び評定の分布状況 ・学生個人の評定及び同一科目履修者内での当該評定の位置付け ・個々の学生の修得単位数、単位修得の履歴及びその時点において標準的に期待される修得単位数 (これらを組み合わせることで、学生が「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力をどの程度満たしているかを一定程度説明することができる。) ・「卒業認定・学位授与の方針」に定められた特定の資質・能力の修得状況を直接的に評価することができる科目においては、当該資質・能力の修得状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの収集 ・教務システム等を活用した個々の学生の授業科目の履修履歴の収集 |
| 学位の取得状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が、個々の授業科目の履修の結果として、「卒業認定・学位授与の方針」に定める資質・能力を備えていることを明らかにする | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が取得した学位に関する以下の情報 <ul style="list-style-type: none"> ・学位の名称、学位に係る「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力及び当該学生が属する学位プログラムにおいて当該学位を取得するために要する平均年数 ・学生が学位取得に要した年数及び上記平均年数との比較 | <ul style="list-style-type: none"> ・学位授与履歴を収集 |

| 情報 | ①把握・可視化の意義 | ②把握・可視化することが考えられる内容 | ③把握・可視化の方法 | | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|---|---|----|----|------|--------|---|------|--------|---|--|
| 学生の成長実感・満足度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が、「卒業認定・学位授与の方針」に定められたそれぞれの資質・能力をどの程度身に付けられているか等について、<u>関する学生自身の主観的な評価を明らかにする</u> ・ 大学が、ある学位プログラムに所属する学生から「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の育成に関してどのような評価を受けているかを明らかにする | <ul style="list-style-type: none"> ・ 同一の学位プログラムに属するそれぞれの学生の、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の伸長に対する主観的な評価の平均値 ・ 「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の伸長に対する個々の学生の主観的な評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生へのアンケート調査を通じた収集 | | | | | | | | | |
| 進路の決定状況等の卒業後の状況（進学率や就職率等） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学が、進学や就職等を希望する学生に対して進路を保証できているかを明らかにする ・ 大学が「卒業認定・学位授与の方針」に照らして期待される人材育成を行っているか否かを、進学先の大学院や就職先の企業等における評価と対照することを通じて明らかにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の進路（進学、就職等）に対する希望状況 ・ 学位プログラム修了者の進路（進学先や就職先等）及びその全体状況（修了者の総数を分母とする進路毎の割合等） ・ 特定の職域の人材育成を目指すなど、「卒業認定・学位授与の方針」に照らして期待される進路がある場合には、実際の進路動向との一致の程度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路が決定した学生へのアンケート調査を通じて収集 ・ 「卒業認定・学位授与の方針」に照らして期待される特定の進路の有無についてあらかじめ分析した上で、一致の程度について分析 | | | | | | | | | |
| 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳格な成績評価が行われていることを前提に、大学が、修業年限期間内において学生の資質・能力を計画的に伸ばし、学位の取得まで到達させていることを明らかにする | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学位プログラム毎の、各年度における入学者の修業年限期間が満了した時点での卒業生、在学者、退学者の数と割合（標準年限期間内に学位を取得していない者については、取得に至っていない原因毎の数と割合） ・ ある学位プログラムにおいて学位を取得するために要する平均年数 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学位授与履歴を収集 | | | | | | | | | |
| 学修時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>単位制度の趣旨を踏まえ、学生が授業内及び授業外で取り組む学修の時間及び平均時間を明らかにすることで、学生が、学位プログラムが期待する水準の資質・能力を身に付けるための一般的な前提条件を満たしているかを明らかにする</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>同一の学位プログラムに属するそれぞれの学生が授業内外それぞれの学修に費やした時間の平均値（①）及び当該学生の履修科目数等から想定される授業内外それぞれの学修時間数の平均値（②）</u> ・ <u>個々の学生が授業内外それぞれの学修に費やした時間数（③）及び当該学生の履修科目数等から想定される授業内外それぞれの学修時間（④）</u> ・ <u>上記①及び②、①及び③並びに③及び④の比較</u> <p><参考></p> <table border="1" data-bbox="1341 1507 2050 1642"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体</th> <th>個人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実測時間</td> <td>①（平均値）</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>想定時間</td> <td>②（平均値）</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table> | | 全体 | 個人 | 実測時間 | ①（平均値） | ③ | 想定時間 | ②（平均値） | ④ | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学生へのアンケート調査を通じた収集</u> ・ <u>（※）今後新たに調査・収集を行う大学においては、例えば以下のような手法での調査・収集が考えられる。</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学修時間の集計単位：1時間単位での把握</u> ・ <u>集計期間の選定：試験直前期や長期休暇期間などを除く平均的な一週間における学修時間</u> ・ <u>（※）学修時間以外の生活時間の調査についても、学修成果・教育成果の把握・可視化の観点から併せて行うことも考えられる</u> ・ <u>教務システム等を活用した個々の学生の授業科目の履修履歴の収集</u> |
| | 全体 | 個人 | | | | | | | | | | |
| 実測時間 | ①（平均値） | ③ | | | | | | | | | | |
| 想定時間 | ②（平均値） | ④ | | | | | | | | | | |

(2) 教学マネジメントを行う上で各大学の判断の下で収集することが想定される情報

| 情報 | ①把握・可視化の意義 | ②把握・可視化することが考えられる内容 | ③把握・可視化の方法 |
|--|---|---|---|
| <p>「卒業認定・学位授与の方針」に定められた特定の資質・能力の修得状況を直接的に評価することができる授業科目における到達目標の達成状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力のうち、左記の科目により直接的に評価することができるものをどの程度の水準で備えているかを明らかにする ・学生が、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力のうち左記の科目により直接的に評価することができるものを獲得してゆく過程を明らかにする | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が単位を修得した左記の授業科目に関する以下の情報 ・科目名、到達目標、到達目標と「卒業認定・学位授与の方針」との対応関係、成績評価基準、成績評価手法及び評定の分布状況 ・学生個人の評定及び同一科目履修者内での当該評定の位置付け ・個々の学生の修得単位数、単位修得の履歴及びその時点において標準的に期待される修得単位数 ・左記の資質・能力の取得状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・教務システム等を活用した個々の学生の授業科目の履修履歴の収集 |
| <p>卒業論文・卒業研究の水準</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた専門教育に係る資質・能力を総合的にどの程度の水準で身に付けることができているかを総合的に明らかにする ・専門教育に係る資質・能力以外のものについても、学位プログラムが提供する教育の集大成である卒業論文作成・卒業研究実施の過程で行われる学生の様々な活動を通じて「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定することができる場合には、当該資質・能力をどの程度の水準で身に付けているかを明らかにすることができる | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文・卒業研究に対する評定により直接的に測定することができる「卒業認定・学位授与の方針」に定める専門教育に係る資質・能力 ・同一の学位プログラムに属するそれぞれの学生の卒業論文・卒業研究に対する指導教員等の評定の分布状況 ・個々の学生の卒業論文・卒業研究に対する指導教員等の評定 ・卒業論文作成・卒業研究実施の過程で行われる学生の様々な活動を通じて、「卒業認定・学位授与の方針」に定める専門教育に係る資質・能力以外の資質・能力を直接的に測定することができる場合には、当該資質・能力の達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文・卒業研究の評価により明らかにすることができる資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力のうち専門教育に係る資質・能力との関係の整理 ・卒業論文作成・卒業研究実施の成果物に対する指導教員等の評定（例えば、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力のうち専門教育に係る資質・能力を中心として、これらに関連するルーブリック等を用いて評価したものなど） <p>(※成果物に対する評定に加え、卒業論文作成・卒業研究実施の過程に対し適切に評価することも重要。)</p> |
| <p>アセスメントテストの結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が、当該アセスメントテストにより測定することができる資質・能力をどの程度の水準で獲得しているかを明らかにする ・「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定することができる場合には、学生が、当該資質・能力をどの程度の水準で身に付けることができているかを明らかにすることができる | <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントテストにより測定することができる資質・能力 ・上記の資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力との関係（アセスメントテストにより測定することができる資質・能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定できるものか、当該資質・能力のエビデンスの一つとして用いることができるものか、等） ・同一の学位プログラムに属するそれぞれの学生の受験状況並びに結果の分布状況及び平均値及び分布状況 ・個々の学生のアセスメントテストの受験状況、その結果及び上記平均値との比較 | <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントテストにより測定することができる資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定め資質・能力との関係の整理 ・「卒業認定・学位授与の方針」に定め資質・能力を直接的に測定することができる、又は当該資質・能力のエビデンスの一つとして用いることができるアセスメントテスト（学生による受験状況やその結果を大学として把握すべきアセスメントテスト）の特定 ・大学として結果を把握すべきアセスメントテストを受験した学生からの報告による結果の収集 <p>(※「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を測定するためにアセスメントテストを利用する場合、大学は、当該テストの目的や測定方法が当該資質・能力の測定にとって適切なものであるかを、慎重に検証する必要がある。)</p> |

| 情報 | ①把握・可視化の意義 | ②把握・可視化することが考えられる内容 | ③把握・可視化の方法 |
|-----------------|---|--|---|
| 語学力検定等の学外試験のスコア | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が、当該試験により測定することができる資質・能力をどの程度の水準で獲得しているかを明らかにする ・ 「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定することができる場合には、学生が、<u>当該資質・能力をどの程度の水準で身に付けることができているかを明らかにすることができる</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学外試験により測定することができる資質・能力 ・ 上記の資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力との関係（学外試験により測定することができる資質・能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定できるものか、当該資質・能力に関連するエビデンスに留まるのか、等） ・ 同一の学位プログラムに属するそれぞれの学生の受験状況並びに結果の分布状況及び平均値及び分布状況 ・ 個々の学生の学外試験の受験状況、その結果及び上記平均値との比較 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学外試験により測定することができる資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力との関係の整理 ・ 「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定することができる、又は当該資質・能力のエビデンスの一つとして用いることができる学外試験（学生による受験状況やその結果を大学として把握すべき学外試験）の特定 ・ 大学として結果を把握すべき学外試験を受験した学生からの報告による結果の収集 <p>（※「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を測定するために学外試験を利用する場合、大学は、当該試験の目的や測定方法が当該資質・能力の測定にとって適切なものであるかを、慎重に検証する必要がある。）</p> |
| 資格取得や受賞、表彰歴等の状況 | <p><資格取得の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が、当該資格の取得のために求められる資質・能力を一定の水準で身に付ける<u>ことができら</u>れていることを明らかにする ・ 当該資格の取得により、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定することができる場合には、学生が、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた<u>当該資質・能力の一部を一定の水準で身に付けることができら</u>れていることを明らかにする <p><受賞、表彰歴等の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が、当該受賞、表彰等のために求められる資質・能力を高い水準で身に付ける<u>ことができら</u>れていることを明らかにする ・ 当該受賞、表彰等により、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定することができる場合には、学生が、<u>当該資質・能力をどの程度の水準で身に付けることができているかを明らかにすることができる</u> | <p><資格取得の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格の取得により証明される資質・能力 ・ 上記の資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力との関係（資格取得により証明される資質・能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定できるものか、当該資質・能力に関連するエビデンスに留まるのか、等） ・ 同一の学位プログラムに属するそれぞれの学生における資格取得の状況 ・ 個々の学生の資格取得の状況 <p><受賞、表彰歴等の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受賞、表彰等により証明される資質・能力 ・ 上記の資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力との関係（受賞、表彰等により証明される資質・能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定できるものか、当該資質・能力に関連するエビデンスに留まるのか、等） ・ 同一の学位プログラムに属する学生のそれぞれの受賞・表彰等の状況 ・ 個々の学生の受賞・表彰等の状況 | <p><資格取得の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格取得により証明することができる資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力との関係の整理 ・ 「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定することができる、又は当該資質・能力のエビデンスの一つとして用いることができる資格（学生による受験状況やその結果を大学として把握すべき資格）の特定 ・ 上記の資格の取得に関する試験等を受験した学生からの報告による結果の収集 <p><受賞、表彰歴等の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の賞や表彰制度等の受賞や表彰等により証明される資質・能力と「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力との関係の整理 ・ 「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を直接的に測定することができる、又は当該資質・能力のエビデンスの一つとして用いることができる賞や表彰制度等の特定 ・ 上記の賞や表彰制度等について受賞し又は表彰等された学生からの報告による情報の収集 |
| 卒業生に対する評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>進学先の大学院や就職先の企業などにおける卒業生に対する評価を通じて、学位プログラムを修了した学生が、実際に「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を身に付けているかを進学先の大学院や就職先の企業などにおける評価と対照することを通じてより詳細に明らかにする</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力に照らした、実際の卒業生に対する雇用主や進学先の指導教員からの評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生の雇用主や進学先の指導教員からのアンケート・ヒアリング等により収集 |

| 情報 | ①把握・可視化の意義 | ②把握・可視化することが考えられる内容 | ③把握・可視化の方法 |
|----------|---|--|--|
| 卒業生からの評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・学位プログラムにおける学修や教育が「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の修得に資するものであったかや、学位プログラムを通じて身に付けた資質・能力が、<u>進学先や就職先でどのように役立っているかを、進学・就職から一定期間経過した卒業生からの評価により明らかにする</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生が、学位プログラムを通じて「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を習得することができたか ・<u>進学・就職等の進路毎に、どのような資質・能力が役立っているかについての、卒業生からの評価</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生からのアンケート・ヒアリング等により収集 |